アサヒペン

New 回しやすい パターン変更ノズル付

これは便利

ガス抜きキャップ付

あざやかな蛍光色に仕上がる

蛍光塗料スプレー

●有害な鉛化合物、トルエン、メタノール、酢酸エチルなどは、一切使用しておりません。

用途 木部・鉄部・プラスチック（スチロール・ABS・硬質塩ビ・アクリル）・発泡スチロール・紙

使用方法・注意書きをよく読んでから使用して下さい。

標準塗り面積（2回塗り）
0.7～1.0m²
タタミ0.4～0.6枚分

乾燥時間
夏期/15分～30分
冬期/30分～60分

無鉛塗料
鉛・クロム化合物は使用していません。

300ml

商品名 蛍光塗料スプレー
品　名 合成樹脂塗料
成　分 合成樹脂（アクリル）、顔料、有機溶剤

使用方法

①塗る面のゴミ、油分、さび、カビ、ワックス等をとります。さびは、サンドペーパーやワイヤーブラシを使ってできるだけ取り除きます。②必ず白地の上に塗ります。白以外の色に塗ると蛍光効果は期待できません。③塗料がついては困る周囲は、あらかじめマスキングテープ等でおおいます。④使用するときは、容器を充分に振り（かくはん球の音が聞こえてから約30秒間）、よく混ぜます。使用中もときどきふり動かして中身をよく混ぜます。⑤塗料を吹きつけるとき、塗る面と噴出口との間は15～25cmの間隔をとります。⑥目立たない部分で試し塗りをして色・噴射の状態・乾燥性・下地への影響・密着性などをよく調べて、異常がないことを確かめてから塗ります。⑦一度に厚塗りをしないで、塗る面と平行に移動しながら、ややうすめにまんべんなく2～3回ぐらい塗り重ねます。⑧使用後は、噴出口がつまらないよう容器を逆さにして2秒ぐらい空吹きし、噴出口をよく拭いてからキャップをします。

用具の手入れ方法 ラッカーうすめ液で洗って下さい。

保管上の注意

①幼児の手が届かないところに保存し、子供が誤飲、誤食、いたずらをしないように注意して下さい。②中身が漏れたり破裂する危険がありますので、湿った場所などサビやすいところや、直射日光のあたるところ・自動車内・暖房器具の周辺などの温度が高くなるところには置かないで下さい。

危険

●引火性あり ●皮膚に接触すると有害 ●吸入すると有害 ●強い眼刺激 ●アレルギー性皮膚反応のおそれ ●遺伝性疾患のおそれ ●臓器の障害 ●眠気やめまいのおそれ ●水生生物に有害

救急処置

●目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。●皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛み又は外観に変化のあるときは、医師の診察を受けて下さい。●蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。

取扱い上の注意

①表示の用途以外には使用しないで下さい。②自動車の補修には適しません。③体調の悪いとき、アレルギー・化学物質に敏感な人は使用しないで下さい。④天気の良い湿度の低い日に塗って下さい。⑤取扱い中は必要に応じてマスクや保護メガネ、手袋（ポリ手袋など塗料が浸透しないもの）を使用して下さい。炎症を起こすおそれがありますので、皮膚に触れないようにして下さい。また、吸い込んだり、目に入らないように注意して下さい。⑥有機溶剤が含まれているので、塗装中・乾燥中ともに換気をよくして下さい。⑦塗料を吹きつけるときは、人や物にかからないよう注意して下さい。⑧塗料は楕円形に噴射されますが、塗料の出る青い部分をまわすことによって縦形にも横形にも変えられます。⑨夜光塗料ではありませんので暗闇では光りません。⑩屋外で使用するものには、屋外用途のクリヤ塗料を上塗りして下さい。⑪容器を逆さにした状態では吹き付けできません。⑫表示してある色は、実際の色と多少異なることがあります。⑬塗り面積・乾燥時間は、色・素材・塗り方・気象条件の違いにより多少異なります。⑭やむをえず中身の塗料を捨てるときは、火気のない屋外で新聞紙などに塗り広げ、完全に乾かしてから一般ゴミとして処分して下さい。⑮容器を捨てる際には、容器下部の表示に従って中のガスと塗料を充分に抜き、他のゴミとはっきり区別して捨てて下さい。⑯容器を落下させると中身が吹き出すことがありますので、取扱いに注意して下さい。

火気と高温に注意

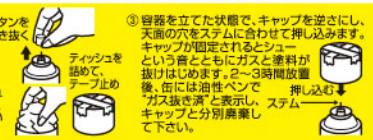
高圧ガスを使用した可燃性の製品であり、危険なため、下記の注意を守ること。
①炎や火気の近くで使用しないこと。
②火気を使用している室内で大量に使用しないこと。③高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所や火気等の近くなど温度が40度以上となる所に置かないこと。④火の中に入れないこと。
⑤使い切って捨てること。
高圧ガス:DME、LPG

第1石油類150ml／危険等級Ⅱ／火気厳禁
合成樹脂エナメル塗料(A-032)

廃棄する際のガス抜きキャップの使い方

注意事項
① 必ず中身を使い切ってから行って下さい。
② 火気のない屋外で行って下さい。
③ 塗料が飛び散っても差し支えないところで行って下さい。
④ 容器が倒れないよう平らな場所で行って下さい。

ガス抜きの方法
① スプレーから押しボタンを引き抜きます。
② キャップの内側にティッシュペーパーを5～6枚詰め、セロハンテープで浮かないように止めます。
③ 容器を立てた状態で、キャップを逆さにし、天面の穴をステムに合わせて押し込みます。キャップが固定されるとシューという音とともにガスと塗料が抜けはじめます。2～3時間放置後、缶には油性ペンで"ガス抜き済"と表示し、キャップと分別廃棄して下さい。



株式会社 アサヒペン
大阪市鶴見区鶴見4-1-12
http://www.asahipen.jp
お客様相談室 ☎06-6934-0300

フィルム：プラスチック(PP)
キャップ：プラスチック(PP)
ボタン：プラスチック(PE)
容　器：スチール

日本製

01-1506